



平成28年8月24日
海上保安庁

西之島の火山活動の状況（8月18日観測）

当庁航空機による西之島の火山活動の観測を実施したところ、静穏な状態が継続していました。

8月18日に羽田航空基地所属航空機（MA725 みずなぎ）により西之島の火山活動の観測を実施しました。

1. 火山活動の状況

火口及びその周辺に噴気及び火山ガスの放出は視認されませんでした（図1）。また、西之島の地表では、新たな溶岩流の流出は視認されませんでした。

熱計測装置の撮影結果では、火口付近に高温域が点在し、7月観測時と比較して変化が認められませんでした（図2）。

西之島の西海岸をのぞく海岸線に薄い褐色の変色水域が幅約200～500mで分布していました（図3）。

同乗した東京工業大学火山流体研究センターの野上健治教授からは、「火口からの噴煙及び火口縁からの噴気は認められなかったが、前回の観測に比べて変色水域が拡大し色調も濃くなっている。熱水活動の消長を繰返しながら、火山活動の縮退傾向は続いていると考えられる。」とのコメントが得られました。

西之島の噴火に関する航行警報は解除されましたが、西之島の地形及び周辺の水深は火山活動により大きく変化しており、詳細な水深が不明なことから、航行には十分な注意が必要です。

2. 新たに形成された陸地の状況

前回調査（7月19日）の当庁航空機による観測と比較して、面積に変化がありませんでした（図4及び図5）。

○8月18日時点での西之島の形状（暫定値）

- ・東西：約1,900m（7月19日時点 東西：1,900m）
- ・南北：約1,900m（7月19日時点 南北：1,900m）
- ・面積：約2.68平方km

東京ドームの約57倍、噴火前の西之島の約12倍

（参考）7月19日時点の面積：約2.68平方km、東京ドームの約57倍

○西之島の面積の比較

基準とする事物	面積	各事物に対する西之島 (8/18時点)の広さ
	(km ²)	
東京ドーム	0.0468	約57倍
バチカン市国 [世界で最も小さい国]	0.44	約6.1倍
仁徳天皇陵	0.479	約5.6倍
東京ディズニーリゾート	1.003	約2.7倍
大阪城公園	1.06	約2.5倍
南鳥島 [日本最東端]	1.51	約1.8倍
モナコ公国 [世界で2番目に小さい国]	2.02	約1.3倍
西之島 (8/18)	2.68	
(7/19)	2.68	



図1 火口及びその付近の様子（8月18日撮影）

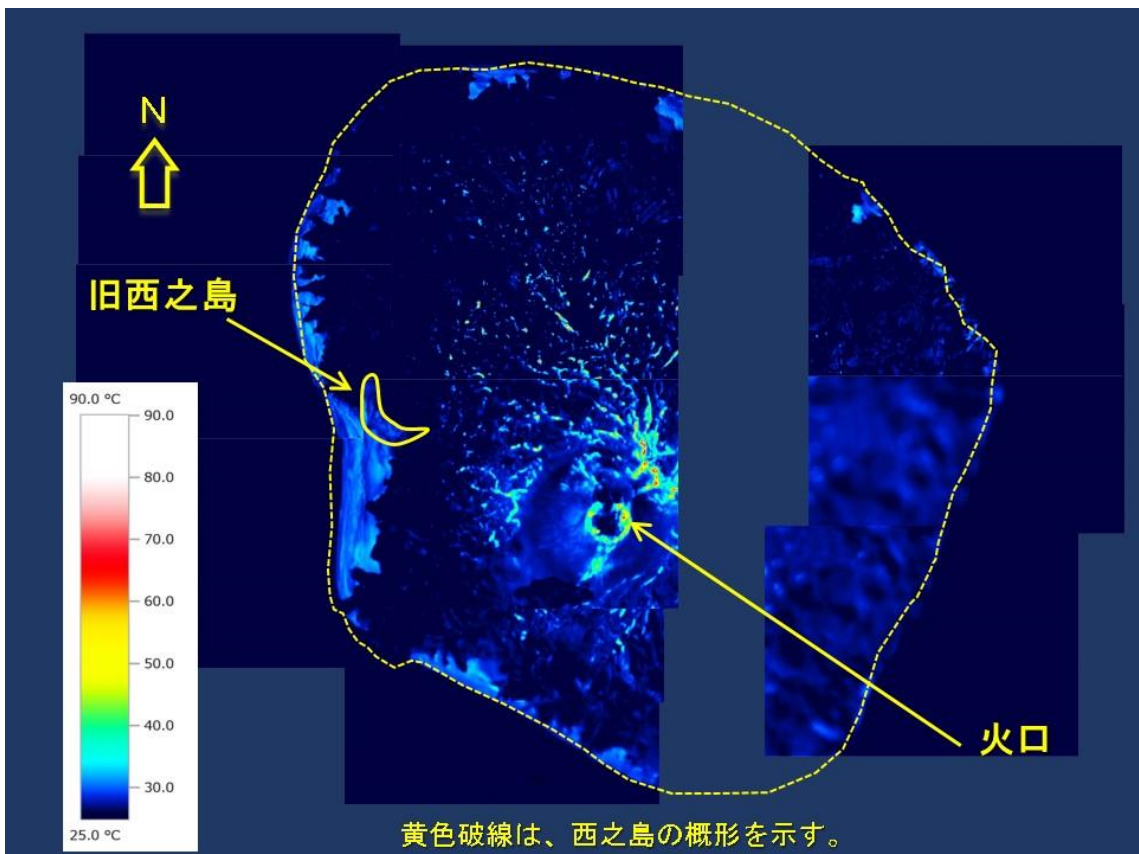


図2 熱計測装置による熱画像の状況（8月18日撮影）



図3 西之島周辺の変色水域の状況 (8月18日撮影)

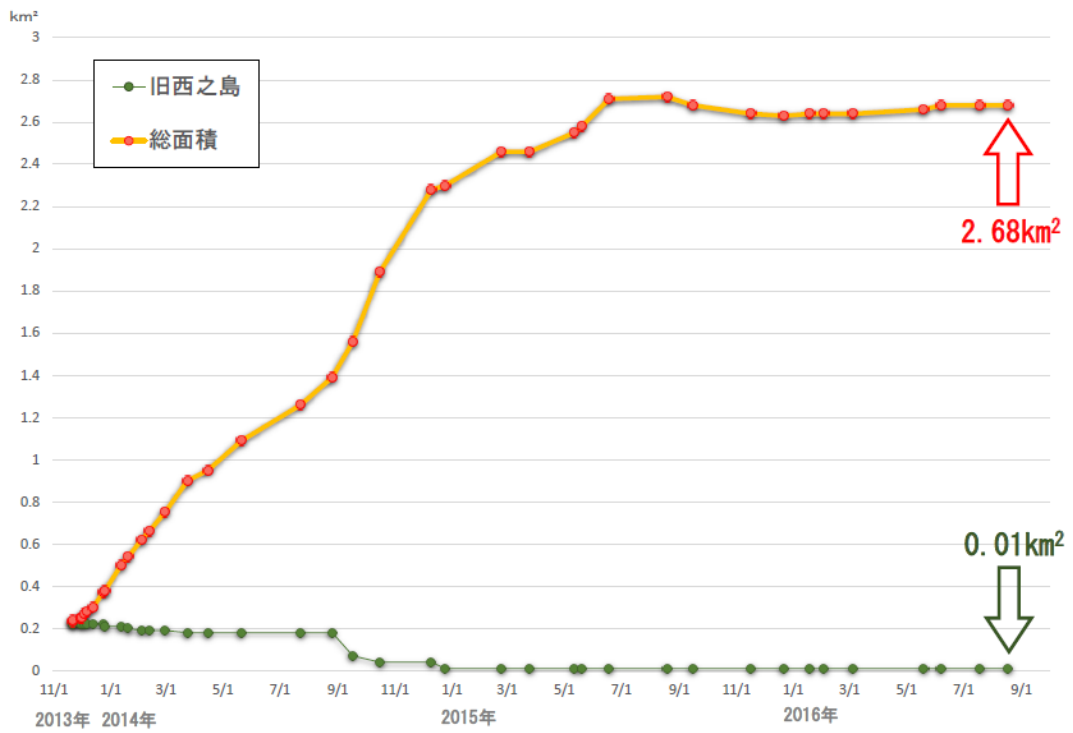


図4 西之島の面積変化グラフ

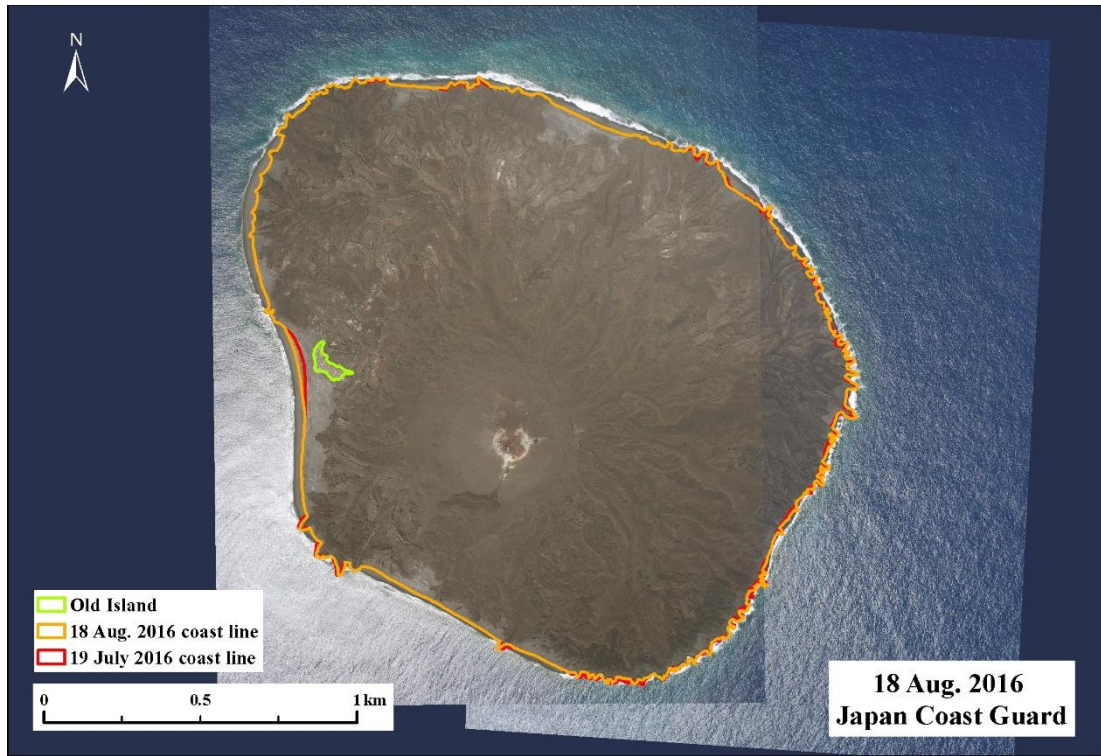


図5 西之島空中写真（8月18日撮影）